

四万十町の計画策定等 — 人権侵害等の状況について

1. 第2期四万十町子ども・子育て支援計画（令和2年3月）から

・アンケート調査：平成31年2月

調査対象	配布数	有効回収数	回収率
就学前児童の保護者	470	358	76.2%
小学生児童の保護者	501	420	83.8%

①子育てについて不安や負担を感じる理由

項目	就学前 (%)	小学生 (%)
子どもの教育やいじめなどが心配だから	42.5	48.1
子どもに関する犯罪や事故が増加していると感じるから	27.5	20.4

②子どもに関して日常悩んでいることや気になること

項目	就学前 (%)	小学生 (%)
子どもを叱りすぎているような気がする	26.3	28.8
友達づきあい（いじめを含む）に関する	11.5	32.6
子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまう	2.0	1.4

2. 四万十町第3期障害者計画（平成30年3月）から

・障害者の状況 (令和元年度末)

身体障害者手帳所持者	1,150人
療育手帳所持者	163人
精神障害者保健福祉手帳所持者	89人
難病患者(指定医療費(指定難病)受給者証所持者)	161人

・特別支援学級、特別支援学校在籍者数 (令和2年度)

特別支援学級	小学校 30人	中学校 8人
特別支援学校	小学部 2人	中学部 5人

・アンケート調査：平成29年7月

調査対象	配布数	有効回収数	回収率
18歳未満の障害者の保護者	36	17	47.2%
18歳以上の障害者	441	211	47.8%

①「障害者虐待の防止、障害者の擁護者に対する支援等に関する法律（障害者虐待防止法）」を知っているか

知っている	知らない	不明・無回答
24.2%	70.6%	5.2%

②障害があることで差別・偏見を受けたことがあるか

区分	ある	少しある	ほとんどない	不明・無回答
身体障害者手帳	15.7%	20.6%	56.9%	6.9%
療育手帳	22.7%	24.0%	46.7%	6.7%
精神障害者保健福祉手帳	32.4%	24.3%	43.2%	0.0%

③どのような場面で差別、偏見を受けたか

項目	差別・偏見を受けた
仕事や収入	38.8%
公共の場での人の視線	36.5%
隣近所とのつきあい	23.5%

3. 第2次四万十町男女共同参画計画（平成31年3月）から

・アンケート調査：平成30年9月

町民アンケート	全体	有効回答	男性	女性
	348人	339人	140人	199人
事業所アンケート	26事業所			

①各種ハラスメントについて、「自分が被害を受けたことがある」

	全体	男性	女性
①セクハラ	12.1%	1.4%	19.6%
②パワハラ	20.1%	14.3%	24.1%
③マタハラ	1.1%	0.0%	2.0%

②DVの経験について「自分が被害を受けたことがある」

	全体	男性	女性
被害を受けたことがある	7.5%	1.4%	11.6%

4. 人権に関する県民意識調査（高知県：平成 29 年度）から

	配布数	有効回収数	回収率
県民意識調査	3,000 人	1,604 人	53.5%

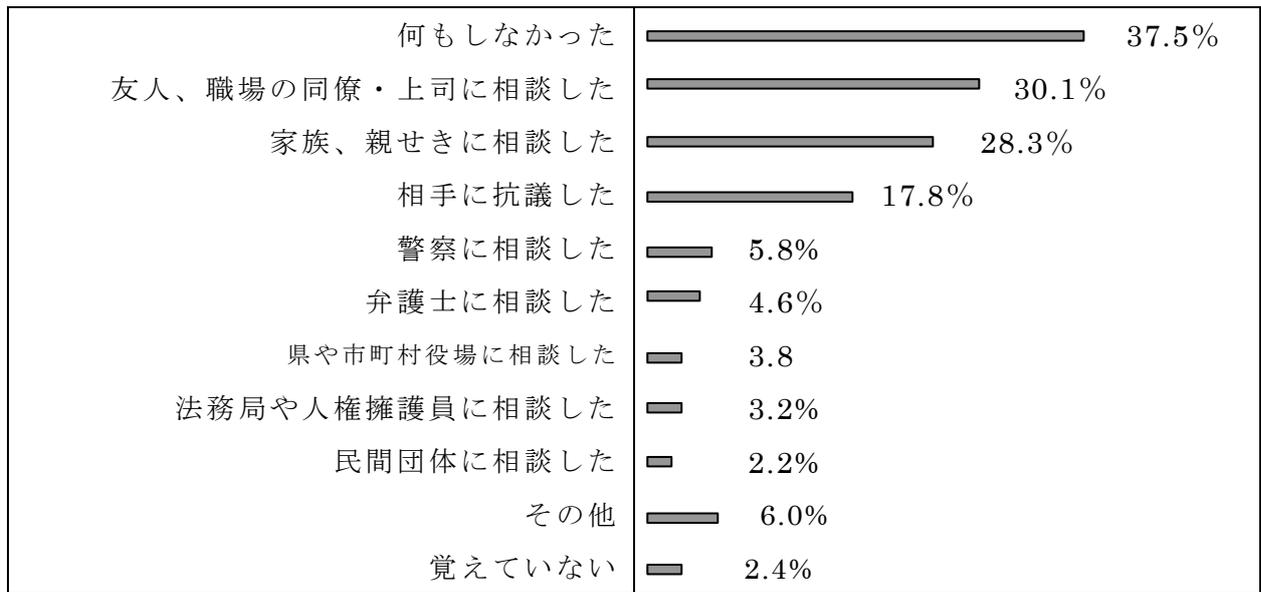
①あなたは今までに、ご自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。

ない		67.1%
ある		31.1%
無回答		1.8%

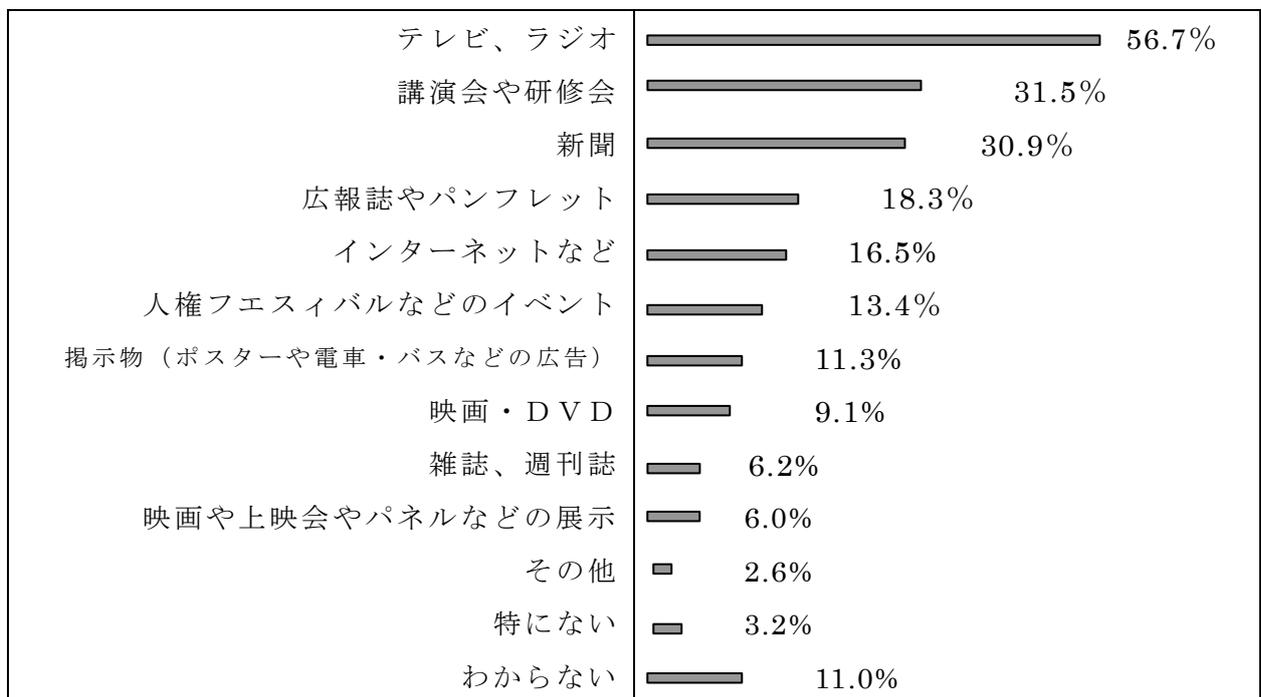
②どのようなことで人権が侵害されたと思いましたか。（複数選択）

あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口		49.3%
名誉・信用のき損、侮辱		25.7%
パワー・ハラスメント		24.8%
差別待遇		15.0%
プライバシーの侵害		13.2%
暴力、脅迫、強要		12.0%
使用者による時間外労働の強制等の不当な待遇		10.0%
ドメスティック・バイオレンス		9.8%
なんとなくそう感じた		9.6%
公的機関による不当な扱い		9.2%
地域社会でのいやがらせ		8.8%
セクシュアル・ハラスメント		8.2%
家庭での不当な扱い		8.0%
悪臭・騒音等の公害		6.0%
ストーカー行為		4.0%
犯罪、不法行為のぬれぎぬ		3.8%
社会福祉施設等での職員からの不当な扱い		3.8%
その他		4.0%
答えたくない		3.6%

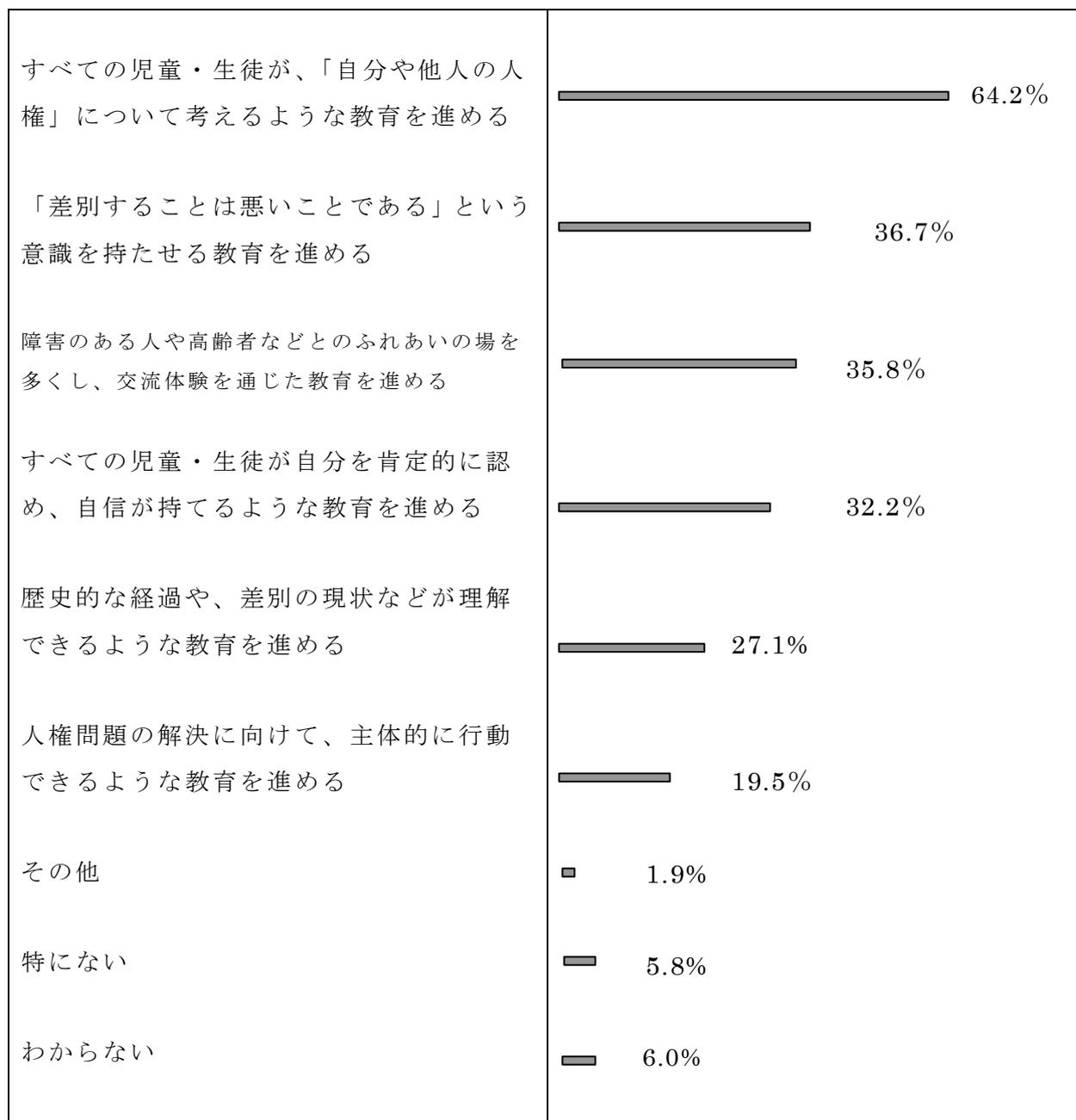
③侵害されたと思ったときにどうされましたか。(複数選択)



④人権を高めるための啓発方法（効果が高いと思う方法、3つまでの選択）



⑤人権を尊重する心や態度を育むための教育（3つまでの選択）



⑥人権尊重の社会実現のために必要なこと（3つまでの選択）

